

平成 30 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語日本文化教育センター 教授
氏名 Name	今井 忍
専門分野 Academic Field	言語学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	日本語の形態法に関する認知言語学的研究
<p>30年度は科研費助成による研究「日本語と英語における語種と複合語の関係から見た借用の一般理論」(課題番号:18K00575)を行った。Talmyによる移動動詞および変化動詞の類型に基づき、複合語と漢語が和語単純動詞では表せないような意味を表しうることを示すとともに、英語における類比的な現象についても指摘した。さらに、両言語の類似が新しい概念に対する名づけという共通した性質から生じることを示唆した。この成果の一部は、第3回国際シンポジウム「グローバル化時代における日本語教育と日本研究」(於ハノイ大学、2018年10月17日)において、「動詞の語種とそれが生起する構文—意味論的分析」というタイトルで発表した。</p> <p>また、日本語における構文の働きについて、「N1もN2もない」という構文の調査を行った。「身も蓋もない」のような substantive な慣用句に属するものから、「～もへったくれもない」のような schematic な慣用句、そして、「知識も能力もない」のような通常の句に至る構文の定着度の連続性が見られた。</p>	